

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月 2日

広島市長

提出者

住所 広島市安芸区畑賀町2970番地

氏名 広島県水道広域連合企業団

広島水道事務所長 益田 康司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 050-3785-3200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	広島県水道広域連合企業団広島水道事務所 瀬野川浄水場
事業場の所在地	広島市安芸区畑賀町2970番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	F36 水道業
②事業の規模	令和5年度年間給水量 31,717 (千 m^3)
③従業員数	60人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2のとおり

別紙1
(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状: 前年度(令和5年度) 実績量
計画: 今年度(令和6年度) 計画量

単位: トン/年

単位: トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
燃え殻																					
汚泥	7700	7800	478	480			5115	5181			2107	2139	2107	2139	2107	2139					
廃油																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラスチック類																					
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず																					
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず																					
鉱さい																					
がれき類																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
合計	7700	7800	478	480	0	0	5115	5181	0	0	2107	2139	2107	2139	2107	2139	0	0	0	0	0

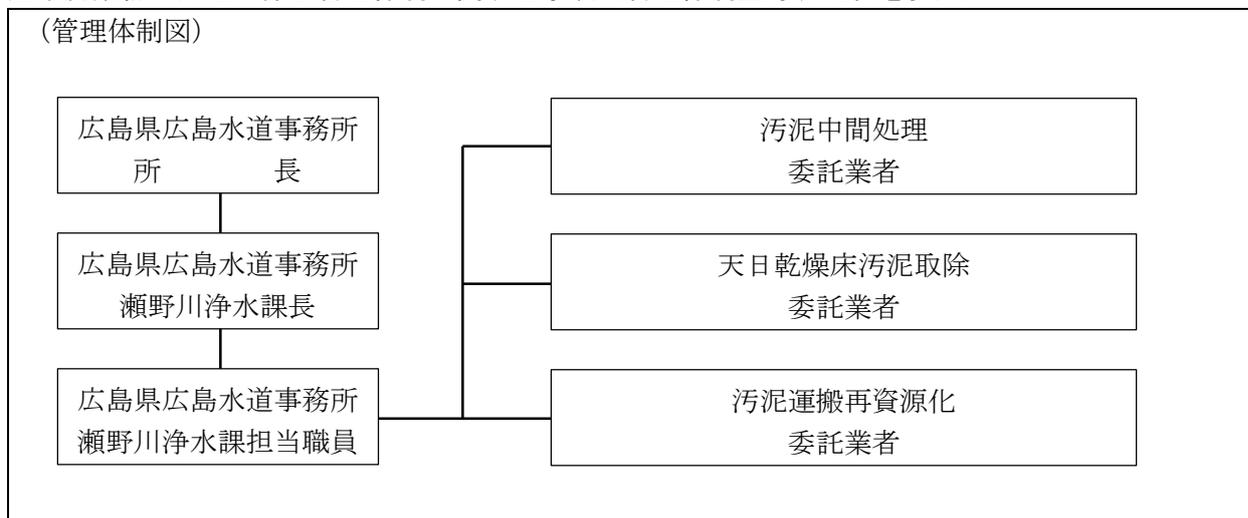
※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

別紙 2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

① 事業の種類	F36 水道業
② 事業の規模	令和5年度年間給水量 31,717 (千m ³)
③ 従業員数	60人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>○天日乾燥床を使用した中間処理による工程 無機性汚泥 (浄水場沈でん汚泥) ↓ 排泥池・濃縮槽 (汚泥濃縮) ↓ 中間処理 (天日乾燥) ↓ 再資源化</p> <p>○バキューム車による工程 無機性汚泥 (浄水場沈でん汚泥) ↓ 排泥池・濃縮槽 (汚泥濃縮) ↓ 再資源化</p>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 排泥池濃縮槽での汚泥濃縮を推進して排出量を抑制している。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 無し (現状維持)

4 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し
② 計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 無し

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 天日乾燥床底部の敷砂として再利用している。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 無し (現状維持)

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 天日乾燥床の汚泥取除きを2回に分けて、再度乾燥することにより含水率を下げて減量している。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 無し (現状維持)

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 無し
② 計画	(今後実施する予定の取組) 無し

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 全量を再資源化した。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 無し (現状維持)